

第43回 多摩川杯少年サッカー大会運営について

本書は「JFA サッカー活動の再開に向けたガイドライン」第6版(2020年9月1日作成)を元に令和2年度 第43回多摩川杯少年サッカー大会を開催するにあたり、新型コロナウイルスの感染症対策に配慮した大会運営に関する諸項目を設定しています。

大会に参加する各チームの選手、スタッフ、審判員、応援者および試合運営に携わる役員に本書の内容を理解していただき、大会に係わる全ての方の連携をはかりながら、円滑な運営につなげ大会成立へ向けてご協力くださいますようお願い申し上げます。

1. 事前の対応

主催団体は、会場における感染対策の準備を行うとともに、参加チームの選手およびスタッフ、帯同審判員、応援者、運営役員等(以下 大会関係者と総称します)に対し、感染防止のために遵守すべき事項を明確にして事前に連絡します。

(1) 感染対策責任者の設置

主催団体及び参加チームは、事前および試合当日、事後にお互いが連絡を取り合える環境を構築するため、それぞれ感染対策責任者を設置することとします。

主催団体 昭島サッカー協会 感染症対策責任者 : 昭島市サッカー協会会長 高橋章

-1. 感染対策責任者の主な役割

感染対策責任者の主な役割は以下のとおりとし、感染対策が実行されているかを確認し、改善を要する場合、その旨指示します。

主管団体	<ul style="list-style-type: none">① 大会運営における感染対策の立案、必要に応じてチェックシートの見直し② 大会関係者への感染対策計画の周知③ 手指消毒液の設置等を確認する④ 大会関係者の体調管理の把握<ul style="list-style-type: none">・大会関係者の体温を記入したものを管理・体温計の管理(動作等)⑤ 入場ゲートにおいて<ul style="list-style-type: none">・機器の管理、指導、作業チェック(非接触体温計等の備品管理やスタッフの配置等)
参加チーム	<ul style="list-style-type: none">① 移動中および大会中における感染対策(3密の回避等)の立案② 選手、チームスタッフ、その他関係者への感染対策の周知③ 手指消毒液の設置確認および切れていないか、不足箇所がないか確認する④ 大会関係者の体調管理の把握<ul style="list-style-type: none">・選手、チームスタッフの体温を記入したものを作成し提出する⑤ 入場ゲートにおいて<ul style="list-style-type: none">・選手、チームスタッフ、応援者の体温測定協力

(2) 感染対策ルール

大会関係者は、以下の事項を遵守していただきます。

-1. 感染対策基本ルール

- ① 以下の事項に該当する場合は自主的に参加を見合わせる
 - ・体調が良くない場合(例:発熱、咳、喉の痛み、だるさ、味覚嗅覚の異常などの症状がある場合)
 - ・同居家族や身近な人に感染が疑われる方がいる場合
 - ・過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合
- ② マスクを着用する（選手、スタッフについては 3. 競技運営における感染対策 参照のこと）
- ③ 咳エチケットに十分配慮する
- ④ 手洗い、手指消毒をこまめに行う
- ⑤ 社会的距離(できるだけ2m、最低1m)を確保する
- ⑥ 3密(密閉、密集、密接)を避ける
- ⑦ 握手、抱擁などは行わない
- ⑧ フィールド上での唾・痰吐き、うがい等は絶対にしない
- ⑨ タオル、飲料ボトルなどの共用はしない(同じ容器にも入れない)
- ⑩ 健康チェックシートの提出
- ⑪ 主催団体が示す注意事項を遵守する

-2. 参加対象者の特定

参加チームは、試合実施日に参加する予定の選手、スタッフ、応援者を特定し、2週間前から健康チェックシートへの記入を開始してください。

本大会においては密を避けるため、各チームの人数制限を実施致します。(運営役員/スタッフを除きます)

選手:18名まで 帯同スタッフ:5名程度 帯同審判員:1名程度 応援者:25名程度

健康チェックシートは試合実施日に提出いただきます。

勝ち残った場合は、次の試合実施日まで新しい健康チェックシートへの記入をお願いします。

-3. 健康チェックシート

以下事項を記載した健康チェックシートを回収し、健康状態について問題のないことを確認します。

- ① 氏名、住所、連絡先(電話番号、E メールアドレス) ※個人情報の取扱いに十分注意します
- ② 試合実施日2週間前から当日までの体温
- ③ 試合実施日2週間における以下の事項の有無
 - 平熱を超える発熱(概ね 37.5°C以上)
 - 咳(せき)、のどの痛みなどの風邪症状
 - だるさ(倦怠感)、息苦しさ(呼吸困難)
 - 臭覚や味覚の異常
 - 体が重く感じる、疲れやすい等

新型コロナウイルス感染症陽性とされた者やインフルエンザ感染者との濃厚接触の有無
同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間が必要とされている国、地域等への渡航又は
当該在住者との濃厚接触がある場合

(3) チームの移動

大会関係者は、以下の点に留意して対応してください。

-1. 近距離の移動

- ① チームの移動は、可能な限り公共交通機関等の利用を避け、バス、乗用車等を利用してください。
会場の駐車場利用については会場注意事項に従って下さい。
- ② 移動に際して、以下の点に留意してください。
原則的にマスクを着用する
長時間(2時間以上等)移動の場合、複数台に分乗して選手間の距離の確保を検討する
1時間につき3回の換気を推奨として、窓を開けて換気する

(4) 打合せ・セレモニーについて

感染防止のため、大会開催にあたり付帯して行われる打合せやセレモニーは以下の通りとする。

-1. 代表者打合せ

大会実施各日 当日試合のあるチームの代表者による打合せを第1試合 30分前に実施します。
各チームから1名ご参加下さい。

- ① 3密を避けるため、間隔を開けて並んでいただきます。
- ② ユニフォーム情報は事前に通知し、正副いずれかまたは組合せ着用を主催団体から参加チームに連絡する場合があります。

-2. 開会式（カップ返還式）

開会式(カップ返還式)は実施しません。

昨年度 優勝/準優勝/第3位の各チームには初戦実施日に会場の本部にて、カップ返還およびレプリカの贈呈を実施します。

-3. 表彰式

表彰式は下記の要領で実施します。

- ① 表彰式にはチーム代表選手1名のみ参加とします。
- ② 賞状およびトロフィーは表彰プレゼンターとチームを代表した選手が、距離(2m以上)を置いて立ち、授与のみ行う
- ③ 表彰プレゼンター、運営スタッフは、マスクを着用する
- ④ 握手は行わない

2. 会場管理における感染対策

(1) 応援者への事前のご案内

- ① 健康チェックシートの項目に該当する場合、無理な来場は、勇気をもって、見合わせてください。
- ② 入場ゲートで体温を測定し、37.5 度以上の場合は入場できませんので、あらかじめご了承ください。
- ③ 会場ではマスクを着用してください。
- ④ 会場でのマスクの配布はございませんので各自ご準備ください。
- ⑤ 事情によりマスクを外す場合は、社会的距離(できるだけ2m、最低1m)、咳エチケットにご配慮ください。
- ⑥ マスク着用を義務付けない例外は以下のとおりとします。
乳幼児 : 着用しないことが望ましい(保護者の判断による)
上記除く未就学児 : 着用するかしないかは保護者の判断による
- ⑦ 手洗い、手指消毒をこまめに行うようにしてください。
- ⑧ 会場では、社会的距離を確保するようにしてください(入退場時、観戦時、トイレの列など)
※情報の管理を徹底した上で、個人情報(氏名、連絡先等)の提供に協力してください。

(2) 会場管理

-1. 会場の衛生管理

- ① 手指消毒液
入場ゲートおよび本部に手指消毒液を設置する。
- ② 石鹼
トイレの手洗い場および会場水場には、石鹼を用意する。

-2. 来場者の入退場管理

- ① 検温ポイントに手指消毒液を設置する
会場の管理エリアの入口を極力1箇所限定し、チェック要員を配置し検温チェックを徹底する
37.5 度未満の場合は入場することができる(37.5 度以上の場合、入場をお断りする)
入場者には検温済みのリングを装着してもらう場合があります
- ② 来場者名簿を利用して、氏名、連絡先等を記録し管理する
- ③ 待機列が「密」にならないよう工夫する

-3. 喫煙所

原則、喫煙所は、設置しません。

3. 競技運営における感染対策

〔主な感染対策確認内容〕

- 試合前、試合後に相手チーム、審判団との握手は実施しない
- 両チームベンチへの挨拶を実施しない
- 円陣はしない
- 倒れた選手に手を貸さない
- 得点時等にハイタッチ、抱擁を行わない
- 口に含んだ水を吐かない
- ボトルを共用しない
- タオルを共用しない
- ピッチ上でチームメイト、審判員と会話する際にも互いの距離についてしっかりと配慮する
- ピッチ内でも咳エチケットを守り、つばを吐く、手鼻をかむなどの行為を行わない
- ベンチではマスクを着用し、会話を控える

-1. 試合開始前のウォーミングアップ

- ① ウォーミングアップ指定場所、ピッチ上でのウォーミングアップ
選手、チーム役員は、マスクをしなくてよい
審判員はマスクをしなくてよい
- ② 監督、コーチ以外は選手に近寄らない

-2. 試合前の用具チェック

- ① 各試合開始 5分前にベンチ前にて本部役員により実施
- ② 本部役員はマスクを着用

-3. 選手及び審判団のピッチ入場～キックオフ

- ① 入場時の混雑を防ぐため、両チーム及び審判団はそれぞれに入場する
- ② 整列、握手セレモニー、選手や審判員同士の握手等は行わない
- ③ コイントスは主審及び両チームのキャプテンにより実施する

-4. チームベンチ

- ① できるだけ間隔を空けて座る
- ② ベンチのチームスタッフはマスクを着用する
但し、テクニカルエリアで指示を送る際は選手との距離に注意してマスクを外してよい
- ③ 選手もプレー及びアップ時以外はマスク着用とする
(外したマスクはケースなどにしまい衛生状態に注意する)
- ④ 不要な会話・接触は控える

-5. 試合中の飲水

- ① 原則飲水ボトルの共用を避ける
ペットボトルでのピッチレベル設置使用可(但し、スクイズボトルタイプのキャップに交換する)
使用したペットボトルは必ず廃棄し、再利用しないこと
- ② 水にスポンジやタオルを入れて体を冷やすことは容認される
但し、顔を拭うことは行わない
- ③ 選手が口を付けフタをしたボトル等をクーラーボックスに戻すことは絶対に避ける

-6. 試合終了時のセレモニー

- ① 選手と審判団がピッチ中央に集まることは行わない
- ② 握手、ハイタッチ、抱擁は行わない
- ③ 選手、チームスタッフ、審判員は、各自で速やかにコートを離れる

4. 事後対応

大会終了後、以下の通り対応します。

-1. 健康チェックシートの保存

主催団体は、万が一、感染が発生した場合に備え、個人情報の取扱いに十分注意しながら、大会当日に大会関係者から提出された健康チェックシートに保存期間(少なくとも1ヶ月)を明記し、保存します。

また、保存期間経過後、健康チェックシートは廃棄します。

-2. 参加チームの状況確認、対応

大会終了後14日以内に、各チームの感染対策責任者に連絡を取り、具合の悪い選手・スタッフがいないか確認します。

万が一、運営スタッフの中から新型コロナウイルス感染症の症状が出た場合には、帰国者・接触者相談センターやかかりつけ医、地域の相談窓口にご相談します。

その後、新型コロナウイルスの陽性反応となった場合は、保健所の指示に従うとともに、主催団体に報告します。

内容について大会関係者に周知いただき、大会の成功に御協力を宜しくお願い致します。